

## 第3学年社会科学学習指導案

### 1. 小単元名 「安全なくらしを守る(1) ○○○のまちを火災から守る人々」

#### こんな子どもたちに

- 消防署や消防団で働く人々について意欲的に調べようとするとともに、火災に備えた施設・設備に関心をもち、進んで調べることができる。(関心・意欲・態度)
- 火災から市民の安全を守るための消防署や消防団で働く人々の工夫や努力について考えることができる。(思考・判断)
- 火災から市民を守るための仕組みや消防署や消防団で働く人々の工夫や努力について、見学やインタビューなどをもとに調べ、調べたことを分かりやすく表現することができる。(技能・表現)
- 火災からくらしを守る仕事や関係諸機関の連携、地域の火災に備えた施設設備の働きと大切さを理解す

#### こんな単元のとらえ方で

《子どもの実態》子どもたちは、1学期の社会科学学習の中で、学習問題の答えを出すために意欲的に調べ学習に取り組み、知識を増やすことができている。しかし、調べたいことを資料から読み取り考える力・調べたことをわかりやすくまとめたり発表したりする力はまだ不十分である。

消防に関する事前アンケートでは、火災が起きたときに電話する番号を正しく答えた子どもは、全体の約7%であった。また発生時の仕組みや火災を防ぐための取組についての知識も不十分であり、消防団について知っている子は、ほとんどいない。

《教材の価値》本小単元は、火災からくらしを守っている消防署の働きと関係諸機関が相互に連携をして、地域の消防団や人々と協力をして、火災から人々の安全を守る工夫や努力を考えることをねらいとしている。そこで、本小単元では、博多消防署に勤務する消防士と住吉分団の井上さんを中心に上げ、学習過程を組むことで、子どもたちに火災から人々を守る工夫や努力に目を向けさせ学習を進めていく。二人の人物を取り上げることで、

①消防士だけが、消火や防火のために工夫や努力しているのではなく、自分の身近な人々が、消防団の方として日々、工夫や努力をしている。

②仕事内容や立場は違うけれど、人々の命を守るために行動するという強い使命感をもっている。

③消防士と消防団の方が協力することで地域が守られている。

ことに気付き、子どもたち自身も火災予防への意識が高まることのできる価値ある教材と考える。

#### こんな活動で

##### 《であう過程》

資料をもとに「消防士さんが、す早くげん場につけ、人を助けたり、火を消したりするためにどのような工夫や努力をしているのだろうか。」という学習問題をつくる。学習問題の予想を立てる際、今までの生活経験や教師からの資料提示、発問を基に考えさせる。予想の交流活動では、子どもたちの予想とその考えの根拠を大切に「119番のしくみ」「火災がないときの活動」「火災が起きたときの活動」の3つの視点に板書で整理をすることで、子ども一人一人が何を調べるかについてはっきりさせる。

##### 《さぐる過程》

「119番のしくみ」「火災がないときの活動」「火災が起きたときの活動」について調べさせる。その際、消防のパンフレットやインターネットの資料、博多消防署の見学、インタビューなどから考えさせ、事実と根拠をプリントに整理させることで、自分の視点から考えた学習問題の答えを導かせる。

##### 《ふりかえる過程》

消防士の取り組みのまとめ→学習問題→調べ学習→消防団の取り組みのまとめ→単元のまとめという学習過程を仕組む。消防士の工夫や努力を理解した上で、消防団の工夫や努力を学習することは、同じ視点で調べ学習をすることで比較しやすくなり、相違点やそれぞれの仕事の特徴に気付くことができる。消防士や消防団の工夫や努力の学習活動では、ゲストティーチャーを招き全体交流をする。日々の苦労や努力について話をしてもらい、さらに仕事に対する思いを話してもらうことで人々の命を守るために行動するという強い使命感をもっていることや、お互いの連携の大切さに気付かせたい。最後に自分たちができることを考え、新聞に書いてまとめさせる。

避	主な学習活動と内容	配時	自ら学びを進める子ども像	支 援
であ う	<p>1. 福岡市の火災の現状を知り、学習問題をつくる。</p> <p>(1) 福岡市の火災の様子を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災現場の写真</li> <li>・火災のビデオ</li> <li>・天井まで火がまわる時間の資料</li> </ul> <p>(2) 消防士の工夫や努力について学習問題をつくる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>学習問題</b></p> <p>消防士さんが、す早くげん場かけつけ、人を助けたり、火を消したりするためにどのような工夫や努力をしているのだろうか。</p> </div>	1	<p>○火災のビデオと福岡市の火災の様子資料から火災の恐ろしさを知り、その中で消火活動をする消防士の姿に気付くことができる。</p> <p>○火災現場の写真や訓練の様子が分かる写真から分かることや発問を聞き、予想を立てることができる。</p>	<p>○火災の恐ろしさを実感させるために、火災のビデオを見せる。</p> <p>○防災センターでの消火活動体験を想起させる。</p> <p>○119番の仕組み・消防士たちの現場での取り組み・日頃の訓練に気付かせるために、資料の提示と発問を行う。</p>
さ ぐ る	<p>2. 予想をもとに消防士の工夫や努力を調べる計画を立てる。</p> <p>(1) 何をどのように調べればよいか調べる計画を立て調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・119番の連絡の仕組み</li> <li>・火災が起きた時の活動</li> <li>・火災がない時の活動</li> </ul> <p>3. 119番の仕組みを知り、情報収集を行い、学習問題の答えを調べ、まとめる。</p> <p>(1) 119番の連絡の仕組みを知る</p> <p>(2) グループごとに火災のない時の活動と火災が起きた時の活動を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災が起きた時の活動 (現場での協力)</li> <li>・火災がない時の活動 (訓練、点検活動、勉強会)</li> </ul>	1  3	<p>○予想の交流をもとに、調べる視点を絞り、調べる計画を立てることができる。</p> <p>○119番の仕組みや消防士のことについて資料を探したり、インタビューをしたりして、視点ごとに調べることができる。</p> <p>○調べたことを分かりやすく工夫してまとめることができる。</p>	<p>○調べる視点が分かるように、板書を分かりやすく工夫する。</p> <p>○火事がない時の活動を予想させるために、消防士の一日の資料を用意する。</p> <p>○119番の仕組みについて理解させるために学習プリントを使って一斉に行う。</p> <p>○子どもたちが意欲をもって調べられるように、調べる視点に合う資料を用意しておく。</p>
ふ り か え る	<p>4. 調べた結果を交流し、学習問題の答えをまとめる。</p> <p>(1) 調べたことを交流する。</p> <p>(2) 答えをまとめる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>学習問題の答え</b></p> <p>119番の連絡が災害救急センターにつながり、一番近い消防署から現場にすぐかけつけられる仕組みになっている。</p> <p>消防士さんは、火災が起きたときは消防士同士が協力して火を消している。火災がないときは訓練をしたり、勉強会をしたりしている。こんな工夫や努力をして、人の命を助けている。</p> </div>	1  本 時 組	<p>○調べたことをみんなに分かりやすく発表することができる。</p> <p>○消防士の話を聞き、関係諸機関との協力が分かり、消防士の思いに気付くことができる。</p>	<p>○答えをまとめやすくするために、発表したことを板書に分かりやすく整理する。</p> <p>○消防士の想いや願いを実感させるために、消防士を招き、話を聞かせる。</p>

<p>5. 消防団の資料から疑問に思ったことをもとに、学習問題をつくり、予想を立てる。 3年-2</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>学習問題</b></p> <p>〇〇〇校区に住む〇〇さんは、消防団の一人として、どんな活動をしているのだろう。</p> </div>	<p>1 本 時 〇 組</p>	<p>○火災現場の写真から消防団の存在に気付く、学習問題の答えについて自分なりに予想を立てることができる。</p>	<p>○消防団の存在に気付く話し合いを行わせるために資料の準備を行う。</p>
<p>6. 予想をもとに、〇〇さんの活動を調べる計画を立てる。</p> <p>(1) 調べる計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災が起きた時</li> <li>・火災がない時</li> </ul>	<p>1</p>	<p>○予想をもとに計画を立てることができる。</p>	<p>○予想を立てさせる際に、既習学習した消防士の活動を思い出させる。</p>
<p>7. 調べる視点に沿って、情報収集を行い、学習問題の答えを調べ、まとめる。</p> <p>(1) 問題について調べる。</p> <p>(2) 答えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災が起きた時 消火活動 給水活動 救助活動 避難誘導 火が消えた後現場に残る。</li> <li>・火災がない時 防火訪問 消火栓の点検 防火訪問</li> </ul>	<p>2</p>	<p>○〇〇さんの活動についてインタビューをしたり、見学をしたりして、視点ごとに調べて、分かりやすくまとめ、学習問題の答えを考えることができる。</p>	<p>○子どもたちが意欲をもって調べられるように、調べる視点に合う資料を用意しておく。</p>
<p>8. 調べた結果を交流し、学習問題の答えをまとめる。</p> <p>(1) 調べたことを交流する。</p> <p>(2) 答えをまとめる。</p>	<p>1 本 時 〇 組</p>	<p>○全体交流や〇〇さんの話を聞いて思ったこと、消防団の活動の工夫や努力を「今日の学習で」に書くことができる</p>	<p>○消防士と消防団が協力して活動していることに気付かせるために「どうして消防士がいるのに消防団があるのかな」と問いかけて考えさせる。</p>
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>学習問題の答え</b></p> <p>消防団の〇〇さんは、火災が起きたときは消防士と協力して消火活動をしている。火災がないときも、消防士と協力して火災に備えた訓練や点検、防火訪問などを行っている。消防団と消防士は、協力して地域の人の命を守っている。</p> </div>			
<p>9. 学習したことを生かして、新聞を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防士の工夫や努力</li> <li>・緊急に現場にかけつける仕組み</li> <li>・消防団と消防士の連携</li> <li>・火災を起ささないための取り組み</li> <li>・これから自分ができること など</li> </ul>	<p>1</p>	<p>○防災について、これから自分たちができることを考えることができる。</p>	<p>○どの子どもも書けるように書き方の見本を用意する。</p>

4. 本時目標

- 119番の連絡の仕組みや、消防士の点検活動・勉強会・訓練・現場での協力などの工夫や努力によって、火災から市民の安全が守られていることを理解することができる。(知識・理解)

5. 本時指導の考え方

目指す子ども像

火さいが起きた時は、119番の連らくがさいがいきゅう急センターにつながり、一番近いしょうぼうしょからげん場にすぐかけつけられる仕組みになっていることが分かりました。げん場では、しょうぼうしどうしが協力して火を消しています。また、火さいがない時は、車や道具などの点けん活動をしたり、くん錬をしたり、勉強会をしたりしています。こんな工夫や努力をして、す早く人の命を助けたり、火をけしたりしていることがわかりました。

本時仮説

人々の安全を守るためには消防士の活動は全て大切な活動であり、どれも欠かすことができないことを理解させるために、

①仕事内容の関連を考えさせる交流活動

を行えば、現場での協力・訓練・点検活動・勉強会が関連し合うことで人々の命を助けたり、火を消したりすることができるということに気付くであろう。

手立て1 仕事内容の関連を考えさせる交流活動

(1) 関連を考えさせる発問・交流

「消防士さんの仕事は人を助けたり、火を消したりすることだよ。それならば、火災がない時の活動は、必要ないんじゃない？」という発問を行い、となり同士で考えを交流し合う。さらに、自分の考えと同じ所や違うところを見つけさせ、それをもとに全体での交流につなぎ、根拠を中心に話し合わせることで、消防士のそれぞれの活動は、わたしたちの命を守るためにはどれも欠かすことができない大切な仕事であることに気付かせたい。

(2) 板書の工夫

子どもたちは119番の連絡の仕組みを知り、「火災がないときの活動」「火災が起きたときの活動」の2つの視点に分かれてグループごとに調べ、まとめたことを発表する。その際に、活動の内容とそのわけを必ず言わせ板書で整理することで、学習問題の答えにつなげる。また、関連を考える際には、自分の考えの根拠を述べさせ、ネームプレートや矢印などを使い、消防士の仕事内容が相互につながり合っていることを分かりやすいようにまとめる。






(3) ゲストティーチャーの活用

消防士に直接話をしてもらおうことは、以下のよさがあると考え。

- ①子どもたちの疑問点をその場で解決することができる。
- ②生の声を聞くことで、消防士の苦労や努力がより実感できる。
- ③調べ学習では分からない消防士の思いを知ることができる。

また、素早く人を助けたり火を消したりするためには、現場の協力・訓練・点検活動・勉強会のどれも大事であることを話してもらおうことで、わたしたちの安全なくらしが守られていることを理解することができると思う。

## 6. 本時展開

学習の活動と内容	支援
<p>1. 本時のめあてを知る。</p> <div data-bbox="161 271 727 465" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 消防士さんの工夫や努力について調べたことをもとに話し合い、学習問題の答えを出そう。</p> </div> <p>2. 消防士の工夫や努力について発表し、交流をする。</p> <p>(1) 調べたことを発表する。</p> <div data-bbox="129 607 448 920" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>消防隊長の指示に従い一人一人の消防士さんが役割をしっかりと果たしています。</p>  </div> <div data-bbox="456 607 735 920" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>火事は怖いけれど毎日の訓練で強い心と体をつくり、火事に立ち向かっています。</p>  </div> <p>(2) 現場での協力・訓練・点検活動・勉強会の関連を考え、交流をする</p> <div data-bbox="153 1043 719 1167" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ぼくは現場での協力だと思います。それは、協力しないと早く消せないと思ったからです。</p>  </div> <div data-bbox="121 1189 727 1357" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>私は訓練が大事だと思います。訓練をしていないと火の中に入って人を助けることができないと思うからです。</p>  </div> <p>(3) 消防士の話を聞いて、消防士の仕事に対する思いを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の命を守るという強い使命感</li> </ul> <p>3. 学習を振り返り、学習問題の答えを「今日の学習で」に書き、発表する。</p> <div data-bbox="153 1603 719 2040" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>火さいが起きた時は、119番の連らくがさいがいきゅう急センターにつながり、一番近いしょうぼうしょからげん場にすぐかけつけられるしくみになっている。げん場では、しょうぼうしや電力会社・ガス会社の人たちがきょう力して、す早く人を助けたり、火を消したりしている。でも、そのためには火さいがない時のべんきょう会・点けん・くん練などの活動がとても大事である。</p> </div>	<p>支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発表の内容と順番を確認させる。</li> <li>○子どもたちが発表した内容を子どもたちが調べた視点ごとに分かりやすく板書にまとめる。</li> <li>○子どもたちの発表で足りない点や疑問点については消防士の話を聞き、その場で解決することができるようにする。</li> <li>○火災がない時の活動についてはその活動をする理由を言わせ、火災現場での活動につなげることができるようにする。</li> <li>○発問：仕事内容の関連を考えさせるための発問</li> </ul> <div data-bbox="767 1010 1422 1211" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>消防士さんの仕事は火災が起こった時、人を助けたり、火を消したりすることだね。それならば、火災がない時の活動は必要ないんじゃない？</p>  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○交流活動：それぞれの視点のつながりを考える交流活動</li> </ul> <p>となり同士で交流し同じ所・違うところに気付かせ全体に広げさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもたちの話し合いを聞いた感想や消防士としての誇りについて話してもらう。</li> <li>○火災が起きた時にす早く対処するためには、点検・勉強会・訓練がなくてはならないことを押さえる。</li> <li>○どの子も書けるように、板書やゲストティーチャーの話を思い出して書くように助言したり、書き方のモデルを提示したりしてまとめさせる。</li> <li>○でない内容については、教師が補足する。</li> </ul>

## 4. 本時目標

- 火災から市民の安全を守る消防団の消火活動や救助活動，防火訪問などの工夫や努力について理解することができる。 (知識・理解)

## 5. 本時指導の考え方

## 目指す子ども像

さんの話を聞いて，さんは火事の現場では命がけで消火活動をしていることが分かりました。

消防団のさんは，火災が起きたときは消防士さんと協力して消火活動をしています。火災がないときも，消防士さんと協力して火災にそなえたくん練や点検，防火訪問などを行っています。消防団と消防士さんは，協力して地域の人の命を守っています。

## 本時仮説

消防団が行う活動の工夫や努力を理解させるために，

①消防団の必要性について，子どもたちの考えを深めさせる発問

②学習問題の答えを考え，通わせ合う交流の場の設定

を行えば，調べ学習で分かった工夫や努力に加えて，消防団は消防士と協力しながらいろいろな工夫や努力をしていることに気付き，学習問題の答えを出すことができるであろう。



## 手立て1 消防団の必要性について，子どもたちの考えを深めさせる発問

子どもたちは消防団の活動の工夫や努力について，友だちの発表や〇〇さんの体験談から学習している。しかし，消防団の方がそんな工夫や努力をしている理由についてまでは気付いていない。そこで，子どもたちに消防士と消防団の活動で似ているところを見つけさせ，「消防士さんと消防団の活動は似ていたね。どうして消防士さんがいるのに消防団があるのかな。」と発問を行う。子どもたちが意見を出し合う中で，「協力」という言葉を引き出させ，消防団と消防士の活動が似ているのは人やまちを守るために協力しているからだということに気付かせる。「協力」が出ないときは，「〇〇の活動は消防士さんだけでいいんじゃないかな」と投げかけて，消防士が的確に活動するためには消防団の協力が必要であることに気付かせる。

## 手立て2 学習問題の答えを考え，通わせ合う交流の場の設定

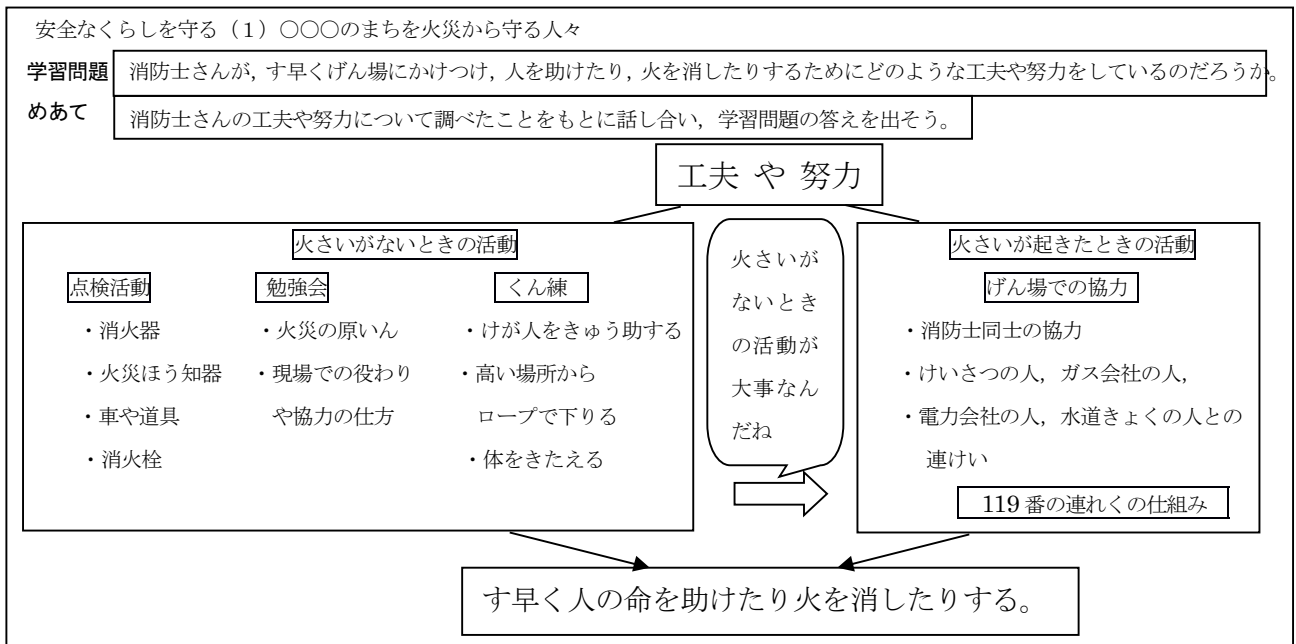
ここでは，自分で考えた消防団の活動の工夫や努力を交流して，学習問題の答えを一つにまとめていく場である。まず，一人一人の子どもが自分なりの答えをしっかりともち，発表できるようにするために，書くのに困っている子どもには「今日の学習で」の書き方のモデルを準備する。子どもたちが「今日の学習で」を書いている間に，机間指導をしながら一人一人の答えを補助簿に記入していく。次に，子どもたちがいろいろな意見を出し合えるように，補助簿を活用しながら場面場面において意図的指名を交えながら交流活動を進めていく。最後に，消防団と消防士の協力と，消防団の火災が起きた時・火災がない時の活動をまとめて書いている子どもを指名して，消防団の活動の工夫や努力についての答えをまとめていく。まとめて書いている子どもがいない場合は，数人の子どもを指名して，交流活動で出た答えのまとめを行う。最後に，学習問題の答えを〇〇さんに伝えて，「火事から美野島の人やまちを守るために，君たちにもできることを考えて欲しい」と話してもらい，次時の活動へとつなぐ。

## 6. 本時展開

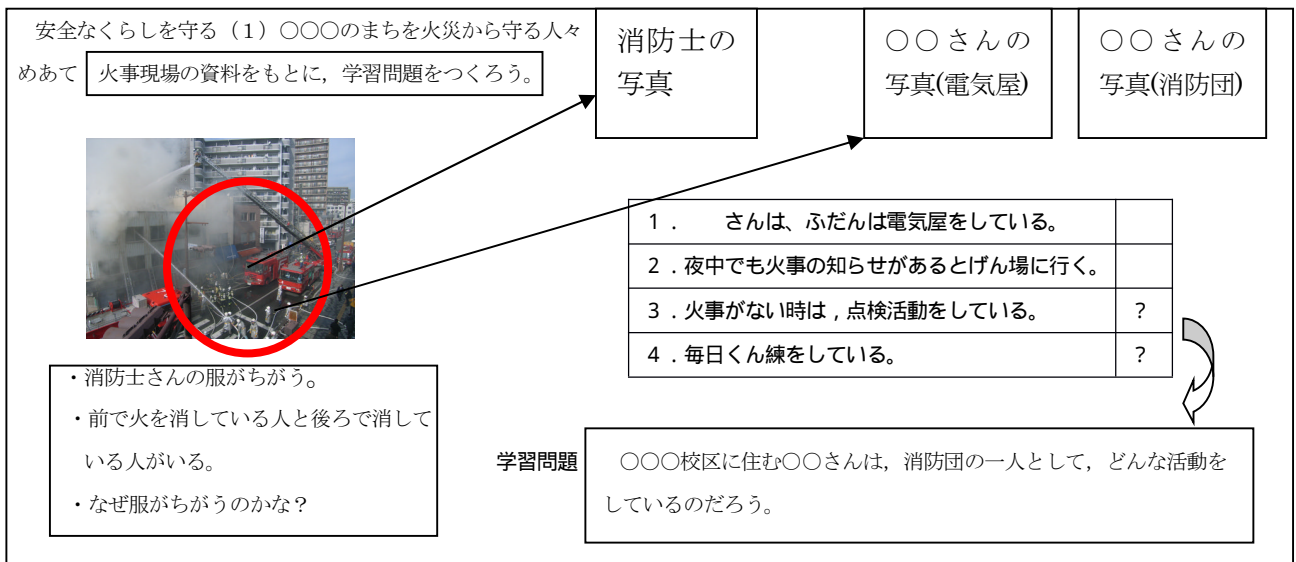
学習の活動と内容	支援
<p>1. 本時のめあてを知る。</p> <div data-bbox="151 280 746 443" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 消防団の活動について調べたことをもとに話し合い、学習問題の答えを出そう。</p> </div> <p>2. グループごとに調べたことを発表する。 (1) 調べたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災が起きた時の活動 消火活動 給水活動 救助活動 避難誘導 など</li> <li>・火災がない時の活動 防火訪問 避難訓練 など</li> </ul> <p>3. 消防団の必要性を考えて、消防団と消防士の協力に気付き、〇〇さんの話を聞く。 (1) 消防団の必要性についての交流をする。</p> <div data-bbox="151 1008 746 1355" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;">  <p>・人が多い方が、火を早く消せるからだと思うよ。 ・消防士さんのお手伝いをするためじゃないかな。 ・きっと消防士さんと協力するために同じ活動をしているんだよ。</p> </div> <p>(2) 〇〇さんの話を聞く。</p> <p>4. 「今日の学習で」を書き、学習のまとめをする。 (1) 「今日の学習で」を書き、発表する。 (2) 「今日の学習で」を交流して、学習問題の答えを出す。</p> <div data-bbox="151 1653 746 2000" style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>消防団の〇〇さんは、火災が起きたときは消防士さんと協力して消火活動をしている。火災がないときも、消防士さんと協力して火災に備えた訓練や点検、防火訪問などをし、自分のまちを自分たちで守りたいという願いから、消防士さんと協力して地域の人の命を守っている。</p> </div>	<p>支援</p> <p>○発表の内容と順番を確認させる。</p> <p>○子どもたちが発表した内容を、子どもたちが調べた視点ごとに分かりやすく板書する。</p> <p>○発問：消防団と消防士が協力して活動していることに気付かせる発問</p> <div data-bbox="798 1008 1420 1355" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;">  <p>消防士さんと消防団の活動は似ていたね。どうして消防士さんがいるのに消防団があるのかな。</p> </div> <p>〇〇〇さんに子どもたちの発表の評価や現場での体験談を話してもらおう。</p> <p>○交流活動：学習問題の答えを考え、通わせ合う交流活動</p> <p>補助簿を活用した意図的指名を交えながら、学習問題の答えを一つにまとめていく。</p> <p>○一人一人が学習問題の答えを出すことができるように、書くのに困っている子どもには「今日の学習で」の書き方を準備する。</p> <p>○いろいろな意見を交流できるように、机間指導をしながら一人一人の考えを補助簿に記入し、意図的指名に用いる。</p> <p>○学習問題の答えを〇〇さんに伝え、話をしてもらう。</p>

## 7. 板書計画

(6/12)



(7/12)



(11/12)

